



### 第7回水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会（7月11日）

「水道用ポリ塩化アルミニウム（JWWA K 154）」の規格改正では、塩基度を75%まで拡大した改正案のパブリックコメントの結果を反映させた規格改正案を承認し、衛生常設調査委員会への上申を了承した。

また、「水道用資機材－浸出試験方法（JWWA Z 108）」、「水道用薬品の評価試験方法（JWWA Z 109）」、「水道用資機材－浸出液の分析方法（JWWA Z 110）」の合本については、委員による合本案の査読意見を踏まえ、パブリックコメント（案）の作成作業を進める。

水道用浄水処理薬品としての「有機高分子凝集剤（ポリアクリルアミド）」と「過酸化水素」の新規二規格については、今後のスケジュールを確認した。

### 浄水場等設備技術実務研修会（東京会場第3回：7月12日～15日、 東京会場第4回：8月2日～5日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々30名（東京会場第3回、第4回ともに15名）の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

### 第705回抄録委員会（7月13日）

本誌10月号に掲載する外国文献の抄録内容について審議した。

### 第183回工務常設調査委員会（7月13日）

委員改選後初めての委員会となったため、正副委員長の内選を行った。委員長には清塚横浜市水道局配水部長、副委員長には山野大阪市水道局工務部長、青木東京都水道局浄水部長が選任された。

議事では、今後のJWWA規格の改正、水道施設維持管理業務委託等に係わる積算要領の改正について審議したほか、指定給水装置工事事業者の処分に係るアンケート調査、日水協ビジョンの策定、水道維持管理指針改訂のスケジュール、平成28年熊本地震について、事務局より報告を行った。



### 第37回水道施設に関する規格専門委員会（平成28年7月19日～20日）

水道用 GX 形ダクタイル鋳鉄管・異形管（JWWA G 120・121）及び水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）の規格改正に係わる委員会を開催した。

7月19日は株式会社クボタ阪神工場にて、今回の改正に関連する GX 形管の継手性能試験を実施した。

7月20日は日本水道協会大阪支所にて、改正審議を行った。まず議題(1)「正副委員長の互選」を行い、委員長に望月東京都水道局建設部技術管理課長を、副委員長には春日井名古屋市上下水道局技術本部管路部設計第一課長を選出した。

次に、議題(2)「水道用 GX 形ダクタイル鋳鉄管・異形管（JWWA G 120・121）への呼び径 300・400の追加」及び議題(3)「水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）への GX 形呼び径 300・400の追加」について、規格改正案の審議を行った。

なお、議題(2)及び議題(3)は、引き続き平成28年9月に2回目の審議を行う予定である。

### 新任水道事業管理者研修会（7月19日～21日）

新たに就任された水道事業管理者及び管理者を補佐する立場にある方々77名の参加を得て、研修会を実施した。

本研修会では元東京都公営企業管理者・水道局長、元本協会専務理事の赤川正和氏による「水道事業管理者のあり方」の他、「水道事業の会計制度と財政のポイントー決算書の見方とそのポイントー」、「水道事業における危機管理」、「水道における災害時相互応援体制ー地震等緊急時対応の手引きの活用についてー」、「水道事業における労働法体系並びに労務管理」、「地方公営企業の労使関係」、「水道事業と争訟」、「水道経営と料金のあり方」について、それぞれ造詣の深い講師により講義が行われた。

また、研修会の最後にはディスカッションを行い、活発な情報交換が行われた。

### 漏水防止講座（東京会場第2回：7月20日～22日）

漏水防止業務に従事する技術系職員の方々57名の参加を得て、東京都水道局研修・開発センターにおいて研修会を実施した。1日目及び2日目に「漏水防止概論」、「漏水防止の現状と課題」、「漏水防止作業」、「漏水探査技術」、「漏水機器の取り扱い」について講義を行い、最終日には、漏水防止関連機器を使用した実地研修を行った。

### 全国水道企業団協議会第164回役員会（7月20日）

全国水道企業団協議会第164回役員会（会長：八戸圏域水道企業団小林企業長）が、本協会会議室において開催された。

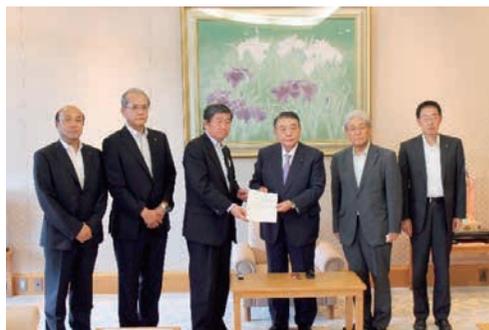
第60回総会において決議された会員提出問題の処理について、陳情方法及び陳情先等について審議し、原案のとおり承認された。

また、第48回企業長・事務局長経営会議について、中国四国地区協議会の岡山県広域水道企業団を開催地事務局として、平成29年10月～11月頃に開催することが承認された。

同役員会終了後、出席役員全員により関係国会議員及び各省庁（厚生労働省、総務省、国土交通省、経済産業省、環境省、復興庁）の幹部に対して陳情を実施した。



役員会の様子



大島衆議院議長に要望書を手渡す小林会長

### 第111回水道 GLP 認定委員会（7月25日）

水道 GLP 認定について、豊中市上下水道局（JWWA-GLP038）、東北環境開発（株）（JWWA-GLP086）、（公財）北九州生活科学センター（JWWA-GLP087）が認定更新検査機関として、阪神水道企業団（JWWA-GLP012）、福岡市水道局（JWWA-GLP013）、（株）太平洋環境科学センター（JWWA-GLP114）が認定維持検査機関として、それぞれ審議され決定された。

### 消費税実務講座（7月25日～26日）

水道業務に従事する事務担当者の方々74名の参加を得て「国・地方公共団体の消費税」、「地方公営企業の消費税等の予算経理及び会計処理」（講師：中田ビジネスコンサルティング代表 公認会計士・税理士 中田ちず子）について研修を実施した。

### 第245回衛生常設調査委員会（7月26日）

厚生労働省東水道水質管理官から、今後の水道水質への取り組みについて報告があった。その後、本協会水道技術総合研究所担当者から、ISO 国際標準化専門委員会における TC224（飲料水及び下水サービスに関する活動）の動向について報告があった。

委員改選後初めての委員会となるため、正副委員長の互選を行った。委員長には保坂東京

都水道局水質センター所長、副委員長には菊池仙台市水道局浄水部水質管理課長、沖広島市水道局技術部水質管理課長を選任した。

続いて、議題として、「水道用ポリ塩化アルミニウム JWVA K 154:2016の規格改正」及び「『突発水質汚染の監視対策指針2002』改訂のための専門委員会設置」が上程され、審議の結果、承認された。次に、水道用薬品及び資機材の衛生性調査専門委員会及び水質試験方法等調査専門委員会について、事務局から直近の議事内容等の報告が行われた。

#### 配管設計講習会（関東会場第1回：7月27日～29日、中部会場：8月3日～5日）

水道事業体及び設計業者の方々100名（関東会場第1回51名、中部会場49名）の参加を得て、「水道の課題と設計業務」、「配管設計・積算の基礎知識」、「製図の基本」、「管路（GX形）の製図演習」、「積算の基本」、「管路（GX形）の積算演習」について研修を実施した。

#### 第947回会誌編集委員会（7月28日）

本誌9月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取り扱いについて審議した。

#### 未納料金対策実務研修会（大阪会場第1回：7月28日～29日）

水道料金徴収業務に携わるの方々67名の参加を得て、未納料金対策（給水停止、支払督促等）について実務を中心とした研修会を実施した。

また、グループ別のディスカッションにおいては、活発な情報交換が行われた。

---

#### 水道協会雑誌平成28年8月号掲載記事の訂正について

本誌平成28年8月号に掲載いたしました「ニュース」につきまして、掲載内容に一部誤りがございました。

ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

#### 巻頭頁

##### <正>

|               |  |                                  |
|---------------|--|----------------------------------|
| 第88回総会（6月23日） | 顔写真の説明文<br>総務省自治財政局長祝辞<br>監査報告<br>退任挨拶 | 石黒自治財政局公営企業経営室長<br>飯嶋監事<br>尾崎理事長 |
|---------------|--|----------------------------------|

##### <誤>

|               |  |                                  |
|---------------|--|----------------------------------|
| 第88回総会（6月23日） | 顔写真の説明文<br>総務省自治財政局長祝辞<br>監査報告<br>退任挨拶 | 黒石自治財政局公営企業経営室長<br>飯島監事<br>尾崎理事長 |
|---------------|--|----------------------------------|